

安全作業手順書【簡易情報版設置撤去】

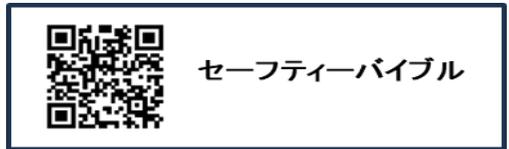
作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路（豊田IC～春日井IC） 名古屋第二環状自動車道 （名古屋IC～飛鳥北IC,有松IC～上社JCT）
機器工具	インパクトドライバー・ワイヤーカッター・ニッパー カッター・ハンマードリル	保護具	ヘルメット、安全ゴーグル、安全ヘルメット、保護メガネ、 切創作業用手袋、軍手、保護マスク

見積もり基準をした危険性の評価			
重大性(B)	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
可能性(A)			
○ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○ (極めて小さい)	○△ (かなり小さい)	○× (中程度)
△たまに起こる (1年に1回程度)	△○ (かなり小さい)	△△ (中程度)	△× (かなり大きい)
×かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	×○ (中程度)	×△ (かなり大きい)	×× (極めて重大)

危険性又は、有害性の評価と危険度の	
危険性の見積もり	危険性の評価
××	極めて重大
×△、△×	かなり大きい
×○、△△、○×	中程度
△○、○△	かなり小さい
○○	極めて小さい

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント			リスクの見積り			安全対策（危険度2以下へ）	
			（～なので～になる）			(A)	(B)	リスク	（私達はこうする）	

準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割（運転手、助手）を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する ケーブル近接協議の内容を確認する 小型移動式クレーン及び高所作業車の点検を行う しらすだーの動作確認及び点検を行う	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を使用して 試掘を伴う場合は協議日を確認して 手順書に則り 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	手順を間違えて思わぬケガをする 免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう / / 協議承認日以前に作業を行ってしまう	△ ○ / / △	× × / / ×	4 3 / / 4	全員で手順書、KYの内容を周知する 乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する / / 作業日と協議日を照合し、確認を行う
	車両確認							
	作業車両準備							
	作業車両点検							



本作業	出発準備								
	出発								
	規制内進入								
	車両移動停止								

使用機器等	車両から必要機械を降ろす	①手袋などを着用して ②手・指挟まれに気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△	△	3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から 車両に正対して昇降する。飛び降りない。
準備工	PGを使ってLED情報板を乗せる（特記参照）	/	/	/	/	/	/
設置工	LED情報板を降ろす。	準備工参照	準備工参照	/	/	/	準備工参照
	LED情報板をセットする。	設置場所の確認をする。	/	/	/	/	/
	ワイヤーで固定する。	ワイヤーが外れないように ワイヤーに人がぶつからないように	ワイヤークリップが抜けてしまう。 ワイヤーが見えずにぶつかってしまう。	△ △	△ △	3 3	向きを間違えないように、ワイヤークリップ4つで止める。 ワイヤーに反射テープを付けて注意を促す。
	LED情報板の車輪に輪留めする。	LED標識が転がらないように	LED標識が転がってしまう。	△	△	3	車止めを設置し、外れないようにロープで固定する。
	ラバーコーンを設置する。	ラバーコーンが動かないように	ラバーコーンが風で動いて車線にはみ出てしまう。	△	△	3	ラバーコーンとLED標識をバインド線で固定する。
	クッションドラムを設置する	クッションドラムが動かないように	振動でクッションドラムが動いて車線にはみ出てしまう。	△	△	3	クッションドラムとLED標識をバインド線で固定する。
片付け	発生材や道具を片付ける 清掃道具で場内清掃を行う 場内状況及び清掃状況を確認する	車線側、他の作業員等十分周囲に注意して 車線側への飛散に十分気を付けて 使用道具や、検測道具など忘れ物の無いように	片づけるときに車線にはみ出して一般車両とぶつかってしまう。 掃き掃除やブロー使用の際、走行車に気づかず 清掃物が飛散し、接触する / / / / / /	△ △ / / / / / /	× △ / / / / / /	4 3 / / / / / /	職長は必ず場内全体を監視し、 全体の動きを指示しながら片付けを行う 職長は必ず場内全体を監視し、 警笛等を用いて合図をしながら清掃する / / / / / /
現場離脱							25.車両回送手順書に則る
帰着・駐車							25.車両回送手順書に則る
後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/

特記	パワーゲートを使用した荷台積み下ろし	パワーゲートを使い荷台にバルーン等を積み下ろし作業をする時は、積載物の落下またはゲート昇降による手の挟まれ、スライダバーの延伸による足挟まれに注意すること	①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させる。 ②バルーン等のタイヤロックを外す時は、必ず声を掛け合図を行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと	声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をはさまれて怪我をする	○	×	3	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業をし、ゲートの昇降をする場合は声を掛け合い挟まれないように安全を確保してから昇降させる。
	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。

判定基準例

危険度	判定
5	即座に対策が必要
4	根本的対策が必要
3	何らかの対策が必要
2	現時点では必要なし (様子を見る)
1	対策の必要なし

リスクの再見積り

(A)	(B)	リスク
○	○	1
○	△	2
/	/	/
/	/	/
○	○	1

○	○	1
---	---	---

○	△	2
/	/	/
/	/	/
/	/	/
○	○	1
○	○	1
○	○	1
○	○	1
○	○	1
○	○	1
○	○	1
/	/	/

/	/	/
○	○	1
○	○	1